

文部科学大臣認定免許状更新に対応

実務施工体験研修



令和3年度開催報告書

本講習の特徴／はじめに	p. 1
会場実施報告	
静岡県／富士教育訓練センター	p. 2
兵庫県／三田建設技能研修センター	p. 3
福岡県／福岡県建設専門工事業団体連合会（参考掲載）	p. 4
受講者の感想	p. 5
ご案内	p. 7

① 講習の選択領域に対応

免許状更新 + 建設業体験

- ✔ 教育現場における **キャリア教育** に活かせる！
- ✔ 教員免許更新制における **免許状更新講習**（選択領域講習）に対応！
- ✔ 免許状更新が **無くても** 参加可能！
- ✔ **連続3日間** で選択領域講習 18 時間をカバー！
- ✔ 屋根付きの施設で建設業の **体験** ができる！
- ✔ **全教諭** が対象！

② 施工体験が可能

（建設業を体験できる講習）

本財団が3会場で実施する講習のみ



（2021年12月現在の免許状更新講習数）

受講者に聞きました！

この講習を選んだ理由は何ですか？

- ・実際の建設業と理科の授業のかかわりは大きく、基礎知識を身に着けることで生徒に還元できると考えた。（中学校教諭）
- ・免許更新の多くが座学で体験的な講習がないから。（工業高校教諭）
- ・施工実習担当教員として、このプログラムは何より日々の教育活動に最もマッチしたプログラムだと直感した。（工業高校教諭）
- ・建築、土木について全く経験がないので生徒にその魅力や難しさを伝えられるようになればと思い選んだ。（普通高校教諭）

③ 費用が格安

	静岡県	兵庫県	福岡県
受講料	一人当たり 68,560 円 開設者等による助成後 19,280 円 (宿泊費/食費込み)	一人当たり 78,646 円 開設者等による助成後 18,000 円 (宿泊費/食費別途)	一人当たり 75,608 円 開設者等による助成後 15,000 円 (宿泊費/食費別途)

はじめに（総括責任者からのご挨拶）

建設産業は、「まちづくり」や「社会基盤整備」などを通じて国民生活の安全・安心を守るわが国の基幹産業です。令和3年度における建設投資額は約62兆円となる見通しであり国内総生産の約10%を占めています。また就業者数も492万人と就労人口の7.4%を占めています。現在、わが国の建設産業の就労人口はその約3割が55歳以上であり、一方の29歳以下は約1割にとどまっていることから、将来を担う人材の確保・育成が急務の課題となっています。

私どもが主催する「実務施工体験研修」は、国民生活の基盤となる社会インフラを「つくり」、「なおし」、「まもる」仕事の担い手の育て手（指導者等）の確保・育成に産業全体を挙げて取り組む事業の一環として実施しております。「実務施工体験研修」は、建設産業における施工の実務を体験する内容ですが、免許状更新の有無にかかわらず、受講いただくことが可能です。先生方には本講習の受講を通じ、建設産業の良いところ、悪いところも含め、実際の姿を目にさせていただきたいと考えております。



一般財団法人 建設業振興基金
理事 奥地 正敏

静岡

講習日数 **3** 日

講習時間 **18** 時間

宿泊

受講料 **¥19,280円**
(食費・宿泊費含む)

建設職業訓練校の中央拠点「富士教育訓練センター」で過ごす3日間

開催期間 2021年8月10日(火)～12日(木)
 場所 職業訓練法人 全国建設産業教育訓練協会 富士教育訓練センター
 (〒418-0101 静岡県富士宮市根原 492-8 / 新富士駅から無料送迎バス)
 主催 職業訓練法人 全国建設産業教育訓練協会 富士教育訓練センター
 一般財団法人 建設業振興基金
 講師 浦江 真人 氏 (東洋大学工学部建築学科 教授)
 片岡 信幸 氏 (国土交通省中部地方整備局 建設産業課長)
 小松原 学 氏 (富士教育訓練センター 校長)等
 参加人数 8名(男性7名、女性1名)
 建設系学科高校教員3名、建設系学科以外の高校教員3名
 中学校教員1名、その他1名



【講習内容(抜粋)】

開講式・ガイダンス、講義「建設業界の現状と課題」(浦江講師)、安全講習、意見交換会「これからの教育のあり方と建設業界への就職について」、墨出し、柱配筋組立、柱・梁鉄筋型枠組立、柱・梁型枠鉄筋解体、筆記試験、閉講式

2021年 静岡	1時限	2時限	3時限	4時限	昼食	5時限	6時限	7時限	8時限	9時限	
	8:25	9:20	10:20	11:15	12:05	13:05	14:05	15:05	16:05	17:05	18:05
1日目 8月10日 (火)	開講式			休憩昼食	学科・講習① (1H)	学科・講習② (1H)	学科・講習③ (0.5H)	学科・講習④ (1.5H)	CCUS 案内	意見交換会 (1H)	
2日目 8月11日 (水)	朝礼	実習(3.5H)			休憩昼食	実習(4H)			映像講習 (1H)		
3日目 8月12日 (木)	朝礼	実習(3.5H)			休憩昼食	意見交換会 (1H)	筆記試験	閉講式			



受講者の感想

漠然としていたイメージだった業界の事を知ることができてよかったです。建設業界の現状を知るとは進路選択の指導でも必要なことで、やる気のある生徒には本当の楽しさと現状を伝えることができると思いました。

→詳しくは5, 6ページに記載

訓練責任者のコメント

富士教育訓練センター
校長 小松原 学



当センターでは5回目となります本年は、いまだ収束の目途が立っていない新型コロナウイルスの影響もあるかと思いますが、十分な感染対策を行った上での実施を考えております。実務型の施工体験実習は教育活動において必要不可欠な内容ではないかと考えており、従来の実績を活かした実習と、行政・高等教育機関・建設業界の方々とのディスカッションを通じて、今後の教育活動に役立てて頂ければ幸いです。

兵庫講習日数 **3** 日講習時間 **18** 時間**通学**受講料 **¥18,000円**
(食費・宿泊費別途)

「三田建設技能研修センター」で学ぶ建設軀体系3職種（鉄筋、型枠、足場）！！

開催期間 2021年8月4日(水)～6日(金)
 場所 職業訓練法人 近畿建設技能研修協会 三田建設技能研修センター
 (〒669-1544 兵庫県三田市武庫が丘 6-1 / フラワータウン駅 徒歩 13分)
 主催 職業訓練法人 近畿建設技能研修協会 三田建設技能研修センター
 一般財団法人 建設業振興基金
 講師 古阪 秀三 氏 (立命館大学 客員教授 工学博士)
 一力 哲也 氏 (国土交通省近畿地方整備局 建設部建設産業第一課長)
 邑智 保則 氏 (一般社団法人 大阪府建団連 副会長)
 参加人数 参加人数 10名(男性10名)
 建設系学科高校教員5名、建設系学科以外的高校教員4名
 専門学校1名

**【講習内容(抜粋)】**

開講式・ガイダンス、講義「建設業界の現状と課題」(古阪講師他)、安全講習、意見交換会「これからの教育のあり方と建設業界への就職について」、鉄筋組立・型枠組立、足場組立、油圧ショベルカー、足場解体、筆記試験、閉講式

2021年 兵庫	1時限	2時限	3時限	4時限	昼食	5時限	6時限	7時限	8時限	9時限	
	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00
1日目 8月4日 (水)			閉講式	学科・講習① (0.5H) CCUS 案内	休憩昼食	学科・講習② (1H)	学科・講習③ (0.5H)	意見交換会 (1H)	安全講習 (1H)	学科・講習④ (1.5H)	
2日目 8月5日 (木)	移動・ 受付	実習(4H)			休憩昼食	実習(5H)				移動	
3日目 8月6日 (金)	移動・ 受付	実習(4H)			移動	休憩昼食	意見交換会 (1H)	筆記試験	閉講式		

**受講者の感想**

生活と深く関わっている業界であることを多くの資料で話すことができました。

また、興味を持っている生徒には具体的な作業などの話をしてあげたいと思います。

→詳しくは5, 6ページに記載

訓練責任者のコメント

三田建設技能研修センター
所長 依藤 庸正



担い手の確保・育成のためには、建設産業界と教育関係者との緊密な連携体制を構築することが求められます。両者がタッグを組み、建設業界の良いところも悪いところもご理解いただいたうえで送り出していただくことにより、入職後のミスマッチ防止に繋がるものと考えています。

フォークリフト操縦・小型クレーン操作など、他では味わえない建設業体験！

福岡会場については、新型コロナウイルスの影響により令和3年度の講習は中止となりました。以下にご紹介する研修の内容は、令和2年度開催時の模様です。

参加受講生から「学校ではできない実技だったので楽しみながら、また、安全に気を付けながら研修ができました。」「貴重な体験だったと思います。欲を言えばもう少し長く体験したかったです。」などのコメントが寄せられ好評をいただいています。

開催期間 2020年8月3日(月)～5日(水)
場 所 福岡県中小企業振興センター 他
(〒812-0046 福岡県福岡市博多区吉塚本町9-15 / 吉塚駅 徒歩1分)
主 催 一般社団法人 福岡県建設専門工事業団体連合会
一般財団法人 建設業振興基金
講 師 杉田 洋 氏 (広島工業大学 教授)
天方 正彦 氏 (元国土交通省九州地方整備局 建政部建設産業調整官)
杉山 秀彦 氏 (福岡建設専門工事業団体連合会 会長)等
参加人数 10名(男性7名、女性3名)
建設系学科高校教員7名、建設系学科以外の高校教員2名、
中学校教員2名、特別支援学校教員1名



【講習内容(抜粋)】

開講式・ガイダンス、講義「建設業界の現状と課題」(杉田講師他)、安全講習、講義「建設現場の安全管理」、枠組み足場組立、施工位置測量、墨出し、型枠製作・組立、フォークリフト操縦、小型クレーン操作、玉掛け体験、意見交換会「これからの教育のあり方と建設業界への就職について」、筆記試験、閉講式

2020年 福岡	1時限		2時限		3時限		昼食		4時限		5時限		6時限		7時限		8時限	
	8:00	9:00	10:00	11:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00						
1日目 8月3日 (月)			開講式	学科・講習① (1H)	安全講習 (0.5H)	休憩昼食			実習(5H)									
2日目 8月4日 (火)		実習(3H)				休憩昼食	実習(4H)											
3日目 8月5日 (水)		実習(2.5H)			休憩昼食	学科・講習② (1H)	意見交換会 (1.5H)	筆記試験	閉講式									



受講後の感想

終了後に行ったアンケートより、回答の一部を紹介します。

「朝礼、指差呼称」はいかがでしたか？

- 実際に緊張感を持って朝のスタートをしていることがよくわかりました。
- 安全意識を持つ上では重要で、生徒を建設業界に出す身としては再度確認できた。
- 安全に対する、現場の高い意識を実感できました。



保護具着用体験・フルハーネス着用体験についていかがでしたか？



- はじめての機会であり、安全教育の知識が深まった。
- フルハーネス着用=安全に配慮した建設業界と思えるような感じを受けた。
- 実際にぶら下がることで、必要性がよくわかりました。
- 実体験できて良かった。ベルトとハーネスの違い（体への）がよくわかった。

鉄筋組立体験についていかがでしたか？

- 講師陣が充実。貴重な体験ができました。
- やはり実技が一番興味を持って取り組みました。指示も丁寧で分かりやすかったです。
- ハッカーの使い方やくんでゆく順序を確認できて良かった。
- 実際に体を動かし形作ることは、その仕事を理解する上でとても大切なことだと感じる。



型枠建込体験についていかがでしたか？



- チームで試行錯誤できたのがよかった。
- 型枠の工夫や組立の順序がわかってよかった。
- あんなに多くの工程の積み重ねと、正確な計測や技術の上に、堅固な建築物が出来上がるのだと、改めて知ることができました。

受講後の感想

終了後に行ったアンケートより、回答の一部を紹介します。

意見交換会についていかがでしたか？

- 他県の先生の意見を聞く機会が少ないので有意義であった。
- 各校の先生方の実情を知ることが出来て、有意義であった。
- 今後、校種間連携するよい材料になった。
- 関東圏の先生や校種の違う先生との交流は良かったが、もっと時間が欲しかった。



【講義】 建設産業の現状と課題についていかがでしたか？



- 産業構造そのものが時代の流れに左右され、人材育成の難しさを改めて思い知りました。ただ、多重請負のシステムをなくさなければいいながら、建設業界全般の低コスト発注と他業種並みの人件費確保についてもう少し話しが聞きたかった。
- 現状を深く知ることができた。

今後、生徒への指導に活かせると感じられましたか？

- 多くの生徒に、生活と深く関わっている業界であることを多くの資料で話すことができました。また、興味を持っている生徒には具体的な作業などの話をしてあげたいと思います。
- 学校現場からは離れてしまったので、すぐに進路指導には直結しませんが、機会があれば、建設業の面白さや女性にもできる仕事が沢山あることなどを伝えていきたいと思います。
- 建設業界の現状を知る事は進路選択の指導でも必要な事で、やる気のある生徒には本当の楽しさと現状を伝える事ができるとおもいました。

鉄筋組立の指導をしてくださった現場の講師の方々印象的で、現場ではこういった生徒がむいているのかなど想像させられたように思います。

全体を通じての感想をお聞かせください。

- このような場に教員だけでなく、生徒も泊を伴って参加させたい。
- 本校教員は元より、県内教員にも広く紹介したいと思います。
- 私は身体が大変弱いのですが、サポートしていただきながら、大変よい経験ができました。この講習は是非続けて欲しいと思いました。

「実務施工体験研修」のご案内

過去の「実務施工体験研修」について、詳しく紹介しています。

令和4年度 実務施工体験研修について

来年度の開催

以下は、本講習に係る次年度の開催計画です。**文部科学省**のホームページより講習検索を行う際の参考としてご利用ください。

- ・開設者名 一般財団法人 建設業振興基金
- ・講習名 建設業界でのキャリア教育に活かす職業体験活動(実務施工体験研修)
- ・時間数 18時間

■静岡:令和4年年8月8日～10日 ■兵庫:令和4年8月3日～5日 ■福岡:令和4年7月27日～29日

過去の開催報告書について

WEB サイト「建設現場へGO!」では、担い手確保・育成に関する**様々な情報・動画・コンテンツを公開**しています。**実務施工体験研修の過去の報告書**もこちらで公開しています。

閲覧・ダウンロードが可能です。ぜひご覧ください。



平成29年度から開催している実務施工体験研修の過去の開催報告書は、WEB サイト「建設現場へGO!」より閲覧・ダウンロード可能です。

こちらからアクセスができます



「建設業しんこう Web」



「建設業しんこう Web」では、建設産業の今を伝え、未来を考える情報を提供しています。

メールアドレスを登録すると、毎月発行後に最新情報をお知らせいたします。ぜひご利用ください。

「建設現場へGO!」メールマガジン
配信希望はコチラから

<https://genba-go.jp/>



「建設業しんこう Web」メールマガジン
配信希望はコチラから

<https://www.shinko-web.jp/>



編集・発行:一般財団法人建設業振興基金 経営基盤整備支援センター 人材育成支援課

〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-2-12 虎ノ門4丁目MTビル2号館 TEL:03(5473)4572 FAX:03(5473)4594

MAIL:jinzai@kensetsu-kikin.or.jp